

第10回伊佐市新庁舎建設検討委員会

伊佐市新庁舎建設基本計画 について

**令和元年8月5日（月）
伊佐市役所大口庁舎2階 大会議室**

1. 新庁舎の建設をとりまく状況

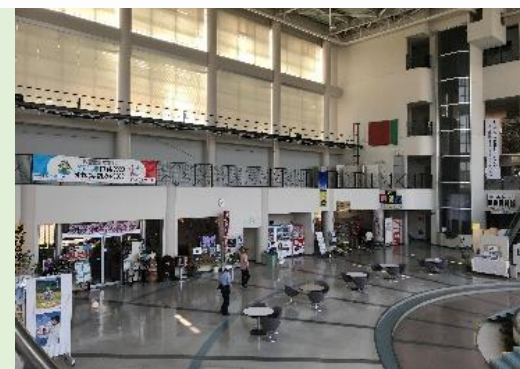
●これまでの検討結果

- ・ 大口ふれあいセンター周辺が計画地、本庁方式、延床面積8,000㎡、駐車場面積11,000㎡
- ・ 2023年度までの工事完了（公共による直接建設方式、設計はプロポーザル方式）

●庁舎建設の視点

- ・ 計画地が商業地域内
＝まとまった敷地の確保（駐車場含む）が課題
- ・ 建物の新設、改修、公園整備など複層的に事業が絡む
＝各事業の検討の積み上げが必要
- ・ 大口ふれあいセンターは築27年を経過
＝大規模改修の時期、使いやすさ・安全性にも課題

■建物内部（アトリウム内の空調は未更新、エレベーターは現基準に未対応）



●まちづくりの視点

- ・ 庁舎機能の集約化に伴い、大口、菱刈の庁舎の位置づけが変化
＝各地域の庁舎機能を含む中心拠点のあり方について再検討
- ・ 大口、菱刈の各庁舎
＝土地・建物の利活用方策を検討

●公共施設マネジメントの視点

- ・ 維持・更新費用50%削減（40年間）が目標、新設しないことが原則
＝個別施設計画の前提条件
- ・ 集約化＋複合化による総量圧縮
＝財政負担の軽減、
管理・運営の効率化につなげる必要

2. 新庁舎建設の方向性

●これまでの検討結果

●まちづくりの視点

新庁舎建設をきっかけに、地域の拠点形成を図り、伊佐市の暮らしやすさ、活性化に寄与することが重要

マチ

●庁舎建設の視点

限られた敷地かつ建築年の異なる複合施設という諸条件に対応する事業プロセスにおける工夫が重要

ハコ

●公共施設マネジメントの視点

新庁舎＋ふれあいセンター＋中央公園＋駐車場等のトータルで、市民、職員の双方に使いやすい内外の空間、動線の確保が重要

ヒト

新庁舎建設単体ではなく、全市的な施設配置を考え、長期的なスパンで庁舎の位置づけ、費用圧縮を考えることが重要

カネ

「マチ」「ハコ」「ヒト」「カネ」

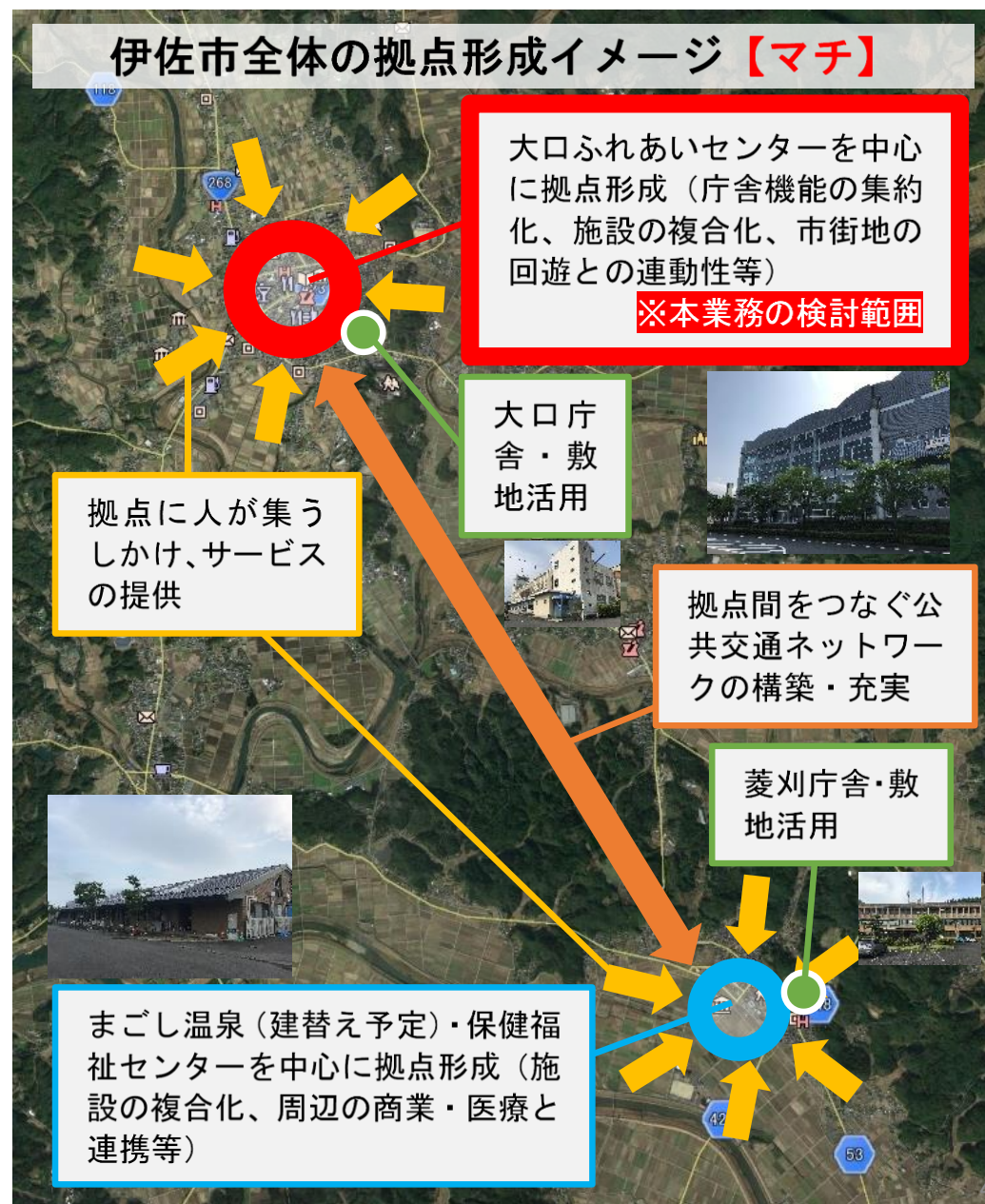
にやさしい新庁舎のあり方を明らかにする

3. 新庁舎建設基本計画の策定方針

策定方針①：伊佐市の交流拠点となる新庁舎の位置づけの明確化

【マチ】

- 今回の新庁舎建設を市全体のまちづくりにつなげることがポイント
- 施設内における「人が集う」機能の配置を検討するとともに、施設利用者や職員が中心市街地を回遊し、地域経済に波及する仕掛けとなるよう、エリア全体での施設、公園、駐車場、バス停等の配置や動線を検討



3. 新庁舎建設基本計画の策定方針

策定方針②：敷地条件・施設状況を加味した最適な空間・配置の検討

【ハコ】

- ・ 既存の建物・公園を含む複合施設であることがポイント
- ・ 利用状況、劣化状況等をまず把握し、新庁舎の空間構成を検討
- ・ 大口ふれあいセンターの更新時期など、長期的な視点で敷地のポテンシャルを最大限活かす適切な建物・公園の配置を検討

策定方針③：市民、職員双方の視点で新庁舎のあり方の明確化

【ヒト】

- ・ 施設の利用者に配慮した検討がポイント
- ・ 市民の使いやすさと職員の働きやすさの両方の目線で検討、共有

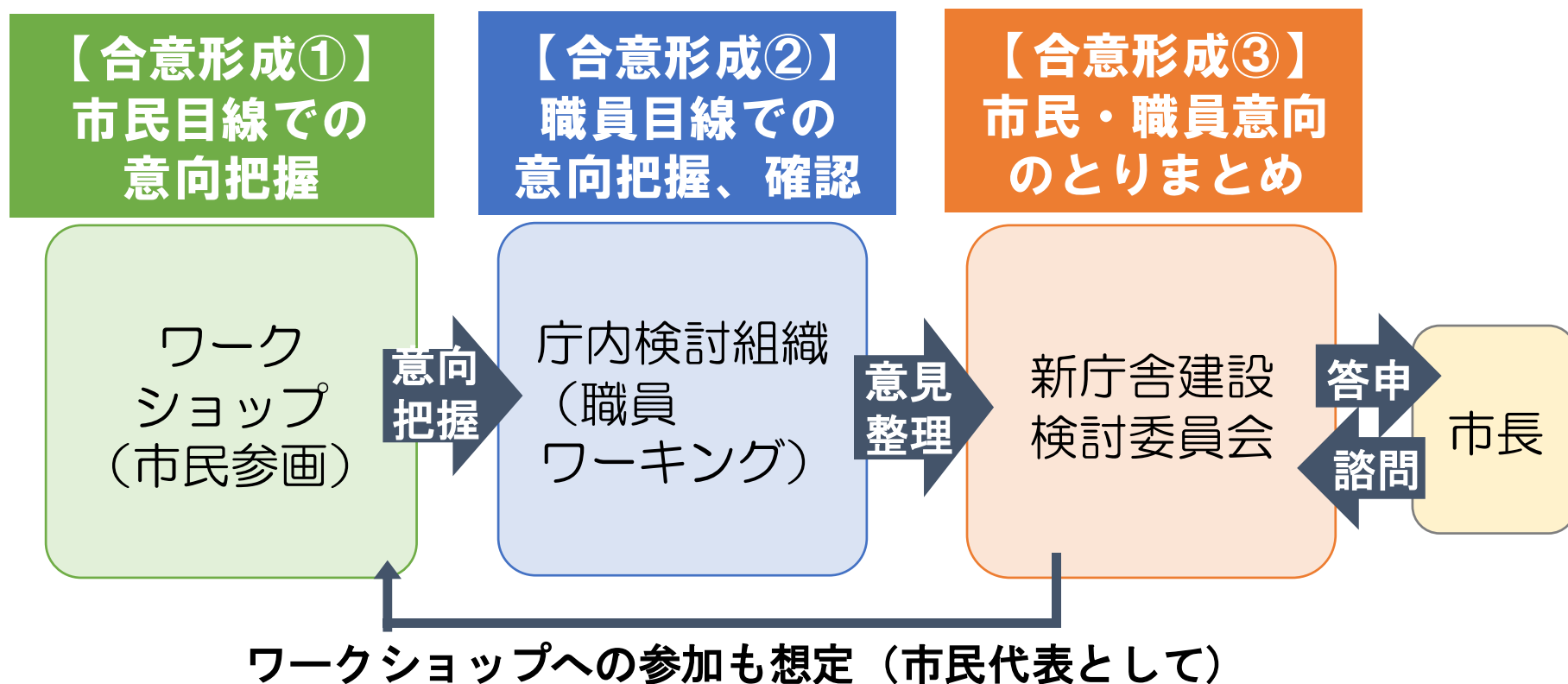
策定方針④：費用圧縮を前提とした新庁舎建設の方策の検討

【カネ】

- ・ イニシャル・ランニングの費用圧縮がポイントです。
- ・ 面積の圧縮により事業費を削減するとともに、長期的にライフサイクルコスト縮減を意識した検討

1. 基本計画策定体制の全体像

- ・新庁舎建設検討委員会は市民・職員意向のとりまとめの場
- ・各場面における役割と全体のつながりを意識



2. 基本計画策定の流れ



3. 市民向けワークショップ開催の流れ

【開催前】

市の考え方と意思決定プロセスの説明
×
ワークショップ参加者の募集

★ワークショップの開催（全4回）

第1回：こんな地区拠点にしたい！！

○大口ふれあいセンター内及び周辺を参加者全員で点検し、地区拠点（まち）としての現在の課題やあり方を話し合う



第2回：こんな施設（庁舎）にしたい！！

○地区拠点（まち）としてのあり方を踏まえ、その中心となる施設が目指すテーマ及び施設に必要なもの（機能）を話し合う



第3回：こんな施設配置にしたい！！

○複合施設内の機能配置や公園、駐車場、バス停等を含む全体配置について話し合う



第4回：こんな施設の使い方をする！！

○新たな施設の使い方について話し合う
○自分自身の施設へのかかわりを宣言する



【開催後】

ワークショップニュース

まちづくりへの主体的な参画、施設の利用等につなげる

4. 庁内検討組織（職員ワーキング）開催の流れ

★庁内検討組織（全4回）

職員アンケート（8月実施予定）

- パソコンでの回答を想定
- 性別、庁舎ごと、課ごと等にクロス集計、分析

- 【設問案】
- ・執務室等の配置近接性の要望（部課毎）
 - ・執務室内への応接室・打合せスペースの必要性
 - ・現庁舎の働きやすさ・使いやすさ・諸室充足度
 - ・飲食スペース・休憩施設の必要性 等

第1回：新庁舎のあり方

- 職員アンケートを踏まえ、各係で意見集約した庁舎の課題や必要な機能、規模の洗い出し

第2回：新庁舎の配置

- 働く側の目線で、建物内の庁舎機能の配置、駐車場の位置の検討

第3回：建築・配置計画の確認

- 各専門の立場から建築、配置上の問題がないかどうか確認

第4回：計画素案の確認

- 計画素案の内容確認

①全職員の現状・意向を把握する機会

②職員目線で意見交換を行う場

③各専門の立場から確認する場

5. 新庁舎建設検討委員会開催の流れ

★新庁舎建設検討委員会（全4回）

第1回：今年度の進め方【本日】

- 今年度のスケジュール（市民・職員参画の流れ等）の共有
- 計画の諮問

ワークショップでの協議（委員も任意参加）

第2回：建築・配置計画の検討

- 必要な機能・規模を踏まえた施設の配置について協議

第3回：計画素案の検討

- 計画素案の説明、確認、協議

パブリックコメントの実施

第4回：計画のとりまとめ

- 今後のスケジュール、設計・工事の業者選定方法の検討
- 計画の答申

【とりまとめ結果の反映】

新庁舎の
機能、規模、配置
の明確化

基本計画素案
の作成

基本計画の策定

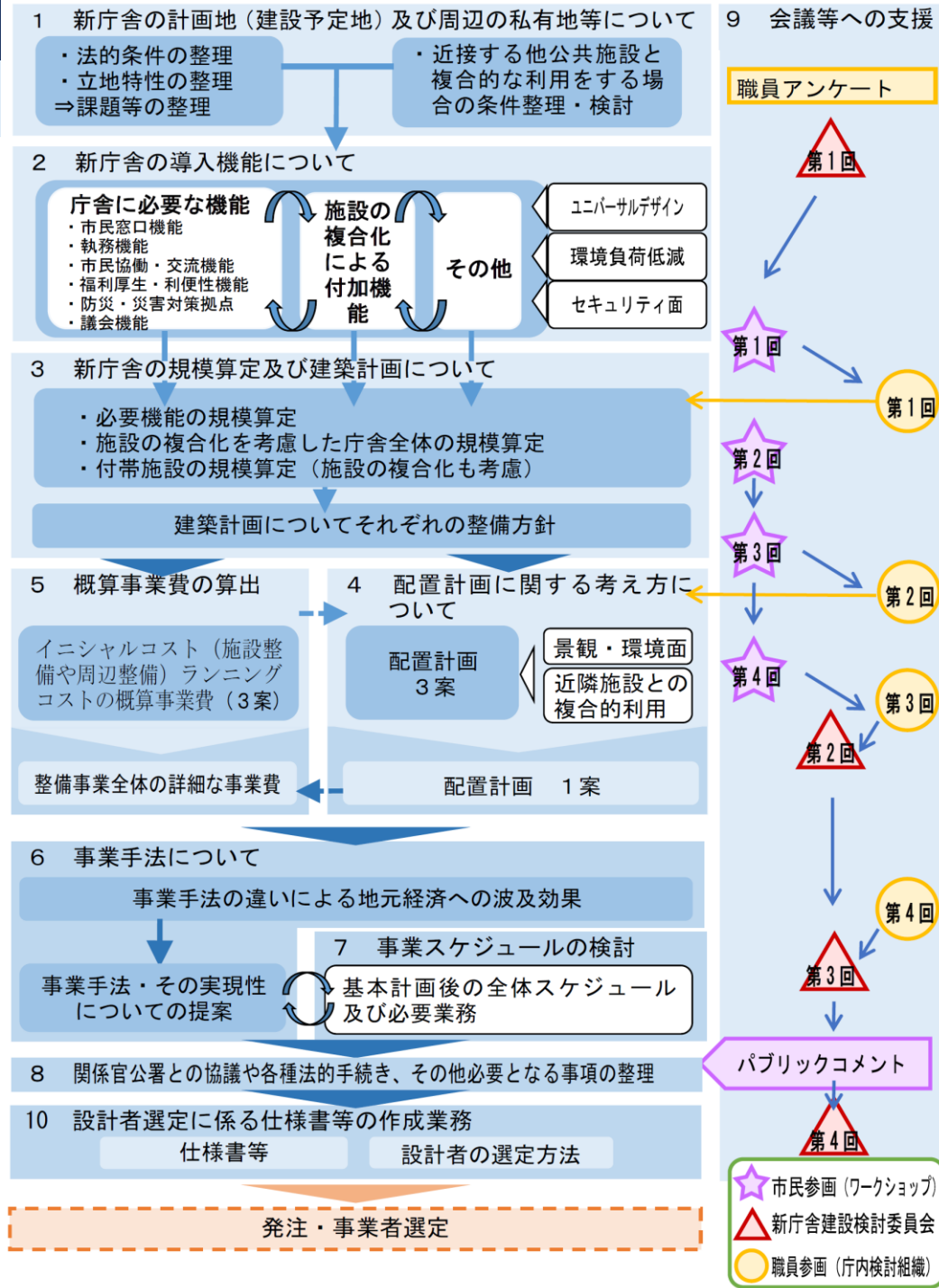
Ⅲ. 基本計画の策定スケジュール

次年度の動きと連携

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 新庁舎の計画地及び周辺の市有地等について	課題等の整理 条件整理・検討								
2. 新庁舎の導入機能について		導入機能の整理							
3. 新庁舎の規模の算定及び建築計画について			規模算定	建築計画の整備方針					
4. 配置計画に関する考え方について					配置計画の検討（3案）	決定			
5. 概算事業費の算出					イニシャルコスト・ランニングコストの概算	全体の事業費			
6. 事業手法について									
（1）事業手法の違いによる地元経済への波及効果についての検討						検討			
（2）適切な事業手法及びその実現性についての提案							提案		
7. 事業スケジュールの検討									
（1）基本計画後の全体スケジュールの検討							検討		
（2）基本計画後の必要業務についての検討							検討		
8. 関係官公署との協議や各種法的手続き、その他必要となる事項の整理							内容の整理		
9. 会議等への支援									
（1）市民参加型ワークショップの運営・支援	募集準備資料作成	参加者募集	①	②	③	④			
（2）庁内検討組織への支援	職員説明会	職員アンケート実施 集計・分析		①	②	③	④		
（3）新庁舎建設検討委員会への支援		①				②	③		④
（4）パブリックコメントの実施等に係る支援							計画素案作成	実施	計画作成
10. 設計者選定に係る仕様書等の作成業務								設計者の選定 方法の検討	仕様書作成
発注者との打ち合わせ計画	●	●			●		●	●	●

各会議との連携

基本計画の策定フロー



基本計画の検討の流れ

